

## 植物工場技術を活用した農業生産法人に出資

株式会社小泉(杉並区荻窪4丁目32番5号、代表取締役 長坂紘司)は、ドーム型植物工場システムによる農産物の生産・加工・販売等を手掛ける株式会社ドームファーム北杜(山梨県北杜市白州町白須5681番地1、代表取締役 金井和也)の株式1670株を第三者割当増資により、本年1月31日付で取得しましたので、お知らせいたします。小泉の出資金額は約5000万円で、同社に取締役及び社員を派遣する予定です。

今回の出資により、小泉は農業分野に本格的に参画することになります。

現在日本の食料自給率は40%(カロリーベース)であり、ピーク時である1962年の73%と比較すると、大きく落ち込んでいます。また農業就業人口の60%が65歳以上となっており、後継者不足や遊休農地の増加が懸念されており、今後の日本の農業はますます弱体化することが予想されます。こうした環境下、先端技術を用いて工業化したプラント(植物工場)での農業工業化がこれらの問題を解決できるものとして注目を浴びています。

株式会社ドームファーム北杜は、現在山梨県北杜市白州町で、40棟のドーム型植物工場システムを建設し、農産物の生産・加工・販売等を行う予定です。同社が生産工場として活用しているエアドーム型ハウスは、関連会社である株式会社グランパが開発したシステムです。エアドーム型ハウスは農作物の成長に合わせて回転・スライドする自動スペーシング技術により、従来型のガラスハウスによる栽培と比較して単位面積当たり2倍以上の高い「生産性」と、露地栽培と比較して農薬や化学肥料の使用量の大幅な削減を可能とすることによる高い「食の安全性」という、二つの優れた特性を有しています。

小泉は、平成14年に環境事業部を創設し、植物を用いた土壌浄化(ファイトレメディエーション)事業に取り組んでおり、本事業では植物の特性を有効活用するため、品種改良手法によりレメディアパールという新品種のマリーゴールドの開発や、特殊な条件下での植物の栽培技術の開発検討も行ってきました。また、小泉は「人・街・未来へ」をビジョンと定め、その中で「新時代におけるビジネスモデル開拓」の計画の一つとして、環境分野、再生可能エネルギー

一分野のほか農業分野などの新規分野への投資・参画も積極的に進める計画を策定しています。そこで、資材を取り扱う商社としての役割及びこれまで培ってきた植物の栽培技術の融合により、本事業への参画は有意義なものとして見込めることから、今回の出資に至ったものです。

小泉は、今後、同社とともにエアドーム型ハウスを活用した農産物の生産と販売を行い、そのノウハウを吸収し、新たなアグリビジネスに取り組んでまいります。

さらに、将来的にはこのエアドーム型植物工場システムの普及・拡大、同システムの省エネ性能の向上のため小泉のこれまで扱ってきた商材のノウハウを活用した植物工場のパッケージ化などの展開も視野に入れていきます。

#### 株式会社ドームファーム北杜 概要

所在地 山梨県北杜市白州町白須 5681 番地 1

代表者 金井 和也

設立年月日 平成 24 年 8 月 16 日

従業員数 60 名(平成 26 年 1 月現在)

事業内容

1. 農産物の生産、加工、販売
2. 農作業の代行、請負及び受託
3. 就農希望者に対する農業研修事業
4. 農産物の貯蔵、運搬及び販売に関する事業
5. 上記各号に附帯関連する一切の業務



エアドーム式ハウスの外観



エアドーム式ハウスの内部